

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
つくばビジネスカレッジ 専門学校	平成7年10月9日	國府田 一之	〒305-0003 茨城県つくば市桜2-14-4 (電話) 029-857-9700																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人 つくば総合学院	平成7年10月9日	片岡 均	〒305-0003 茨城県つくば市桜2-14-4 (電話) 029-857-9700																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
工業	工業専門課程	ビジュアルデザイン学科	平成23年文部科学省 告示第167号	-																							
学科の目的	数多くあるメディアのニーズに対応するために、応用力のあるクリエイターを育成します。特にビジュアル表現のデジタル化により、アナログの基本技術を礎にデジタル表現に磨きをかけ、行動力やコミュニケーション能力も育成します。グラフィックデザイナーは企画力やプレゼンテーション能力、マンガ家・イラストレーターは本物を探すフットワーク、本質を見抜く探求心が重要です。実践的なカリキュラムで基本技術や考え方を習得し、提案力のあるグラフィックデザイナー、サブカルチャーで活躍できるクリエイターを育成します。																										
認定年月日	令和2年3月25日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	1,860	240	1,665	0	0	0																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
50人	104	0人	4人	6人	10人																						
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各期末の考査試験にて評価。評価基準はA,B,C,Dの4段階																							
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季休業:7月23日～8月26日 ■冬季休業:12月21日～1月6日 ■学年末:2月20日～3月31日		卒業・進級 条件	① 出席率が90%以上・2年間1,700時間以上 ② 成績評価がC以上 ③ 学納金の完納 ④ 卒業基準検定の取得																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任による電話連絡、個別面談、及び保護者面談等		課外活動	■課外活動の種類 自治体向けマラソンポスターデザイン、公的機関ポスターデザイン、自治体歴史冊子編集制作協力 他 ■サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者にに関する令和4年5月1日時点の情報)																							
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 印刷会社、デザイン会社、製造会社、看板製作会社、出版社、菓子製造・販売会社、歯科医院 他 ■就職指導内容 【就職実務】の授業、マナー研修会、業界就職者懇談会、就職活動前研修会、インターンシップ、模擬面接指導など ■卒業生数 : 36 人 ■就職希望者数 : 21 人 ■就職者数 : 16 人 ■就職率 : 76.2 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 44.4 % ■その他 ・進学者数: 7人 ・本校ビジュアルデザイン学科研修課程へ進学 (令和3年度卒業者にに関する 令和4年5月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>色彩検定3級</td> <td>③</td> <td>37人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>Webクリエイター スタンダード</td> <td>③</td> <td>15人</td> <td>14人</td> </tr> <tr> <td>Word文書処理3級</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>Excel表計算3級</td> <td>③</td> <td>36人</td> <td>27人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 かすみがうら市先人シリーズ冊子編集、牛久シティマラソンポスターデザイン採用、土浦マラソンデザイン採用、かすみがうらマラソンポスターデザイン採用、少年マガジン新人奨励賞 他</p>				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	色彩検定3級	③	37人	33人	Webクリエイター スタンダード	③	15人	14人	Word文書処理3級	③	36人	31人	Excel表計算3級	③	36人	27人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
色彩検定3級	③	37人	33人																								
Webクリエイター スタンダード	③	15人	14人																								
Word文書処理3級	③	36人	31人																								
Excel表計算3級	③	36人	27人																								
中途退学 の現状	■中途退学者 令和3年4月1日時点において、在学者96名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者88名(令和4年3月31日卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 学習意欲欠如、学業不振、精神的な問題 ■中退防止・中退者支援のための取組 入学前のオープンキャンパスでの学校、学科、業界説明の強化、同時に保護者に向けた説明会で理解を深めてもらう。担任との二者、三者面談。		8名	■中退率 8.3%																							
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ○出願区分による成績、活動内容等による免除 ○学費免除試験制度 ○学校独自の奨学金制度 ○社会人経験者優遇制度 ○兄弟姉妹入学割引制度 ○在学中の高資格奨励制 他																										
第三者による 学校評価	■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ■民間の評価機関等から第三者評価: 無																										
当該学科の ホームページ URL	https://www.tsg.ac.jp/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

デザイン・マンガ・イラスト・広告出版業界で即戦力のグラフィックデザイナー、DTPオペレーター、イラストレーター、マンガ家などに必要とされる知識や技術の他に、コミュニケーションスキルを兼ね備えた人材の育成を目標としている。そのため、グラフィックデザイン、イラスト、マンガ業界で専門分野に知見のある方々に教育課程編成委員を依頼し、デザイン分野全般における実情と求められるスキル等について意見や提案を求め、カリキュラム編成を検討し、授業計画等に反映させていくものとする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会の位置付けは、学校組織教務部の上位に位置し、年に2回の教育課程編成委員会での意見を活かすことで、その後の教育課程の編成を協力して行うものとする。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
糸井 邦夫	現代童画会 副会長	令和4年4月1日～令和8年3月31日(4年)	①
越川 三千雄	株式会社サイドランチ 編集チーフ	令和4年4月1日～令和8年3月31日(4年)	③
國府田 一之	つくばビジネスカレッジ専門学校 校長		
長瀬 剛夫	つくばビジネスカレッジ専門学校 副校長		
高松 秀岳	つくばビジネスカレッジ専門学校 教務部長		
大久保 孝次	つくばビジネスカレッジ専門学校 ビジュアルデザイン学科 主任		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (2～4月、7～9月)

(開催日時(実績))

第1回 令和3年9月17日 11:30～12:45

第2回 令和4年3月31日 11:30～12:45

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

○1年生については漫画家やイラストレーターを目指す学生がいるが、授業においては、それぞれを希望する学生により、授業科目への取り組み姿勢が違ってくるので、まずは1年生マンガ・イラストコースの学生向けに「目指す方向についてのアンケート」を実施して、集計結果により、選択授業も考えていくことにした。

○中々、課題に取り組めない学生もいるので、次のような対策を考えていく。●大まかな流れと提出課題(評価対象)数などを、各科目担当の先生がクラス担任へ提出し、全体の課題計画表を作成する。●未完成でも課題提出締め切り日には必ず提出させる。未完成者については、完成するように指導していく。完成できない場合は、ポートフォリオに入れることができない。●各授業では、技術的な指導とともに、個別に進捗・取り組み姿勢を見ながら制作スケジュールの各指導教員をお願いしていく。これにより画力が不足する学生の評価ポイントを判断する事ができようになる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

デザイン・マンガ・イラスト等のクリエイティブ業界における職業人として実践的な知識・技能を習得するために、主に講義や演習等で学んだ知識・技術に基づき、具体的にどの様に活用するのか、されているのかを理解するために、クリエイティブ業界について専門的知見を有する企業等と連携し、実務を体験(疑似体験含む)出来る演習等を実施する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

事前に学科担当教員、科目担当教員、連携企業担当者が打ち合わせを実施する。ポスター、折込チラシ、企業ロゴ、イラスト、マンガ、イベント小冊子等の編集・デザイン制作など自治体、一般企業からの依頼に基づき、各授業週における指定課題を決定し、制作に取り組んでいく。最終課題完成後、デザインコンセプトを始め、制作に関する一連の流れをプレゼンテーションとして発表する。学修評価は、連携企業担当者がプレゼンテーション、中間制作展、卒業制作展における作品を参考に評価し、学科担当教員が最終成績評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
カットイラスト I	挿絵や広告等に使用できる商業イラストの制作方法を学び、マンガの技術を他のデザイン分野でも活用できるようにする。	株式会社サイドランチ
キャラクターメイキング I	キャラクターが持つ様々な性質とキャラクターデザインにおける法則やルールを理解させ、デザインに対しての発想力を養い、時代に沿った知見を得る。	株式会社サイドランチ
カットイラスト II	挿絵や広告等に使用できる商業イラストの制作方法を学び、マンガの技術を他のデザイン分野でも活用できるようにする。	株式会社不知火プロ
キャラクターメイキング II	物語に登場するキャラクターの立ち位置を理解させ、新しい世界観を取り入れながらキャラクターデザインを制作させ、時代に沿った知見を得る。	株式会社不知火プロ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

常新しい情報を発信しているデザイン・マンガ業界において、授業知識・技能を習得するために、教員は学内及び学外での研修に参加し、自らの見識・技能の幅を広げ、それを教育の現場にて反映させていくこととする。また、退学防止のため、指導者研修などにも積極的に参加することで教員としての資質向上を図るものとする。学校は教員研修規程に従い、教員の業務経験や能力に応じて、新たに採用した教職員に関して「新任教員基礎研修」管理職教職員に関しては「管理職研修」、また各々指導分野における実務研修・見学研修を計画的に実施する。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名: グラフィックデザイン・レイアウトの基礎 研修(連携企業等: 茨城県よろず支援拠点)

期間: 令和3年5月26日(水) 対象: 常勤講師

内容: 1. グラフィックデザインとは? 2. レイアウトの基本原則 3. 写真の選定について 4. 配色テクニック 5. デザインの悩みQ&A

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名 上級絵画指導インストラクター 研修(連携企業等: 特定非営利活動法人技術と遊び創造協会)

期間: 令和3年11月3日(水) 対象: 常勤講師

内容: 絵の具で描ける表現の可能性を知り、子どもたちの日々の生活や興味を持ったことを、気持ちを込めて絵で表現するための環境作りや言葉かけを学習する。Step.1 ●絵画指導は導入が決め手 ●絵の具をもっと楽しむ表現いろいろ ●使いたい色を作るための知識 Step.2 ●子どもが主体になる絵画表現活動 ●人物をいれた経験画を描いてみよう ●気持ちを込めて描くために

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名 Illustrator活用研修(連携企業等: アドビ株式会社)

期間: 令和4年 対象: 常勤講師

内容: テーマ: 「Illustratorをつかった、いいロゴデザイン」(仮)

・ 初心者、どんな「ロゴの種類」から練習すればいいの? ・ Illustratorは、ロゴデザインで「どう使えば」いいの? ・ いいロゴデザインの「手順・進めかた」はどうすればいいの? …など、Illustratorを使った、「いいロゴデザインの考えかた・練習方法」を習得する。また、「ロゴ以外」にも応用がきく、「デザインリサーチの手順、Adobe Fontsの使いかた」も習得する。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「新任教員基礎研修(仮)」(連携企業等: 一般社団法人全国専門学校教育研究会)

期間: 令和5年3月 対象: 常勤講師

内容: 専門学校の理解と、授業教授法を経験のある教員の模擬授業を参考にしながら学習し、指導力向上を図る。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

1. 学校関係者評価は、評価という協働作業を通じて、学校、卒業生、地域住民などがお互いに理解を深めることである。学校はそれに関係する人たちが理解を深め合うためのコミュニケーションツールであると考えます。
2. 学校評価の基本は、自己評価である。学校が行った自己評価が、卒業生、地域住民たちの目から見ても違和感無く受け入れられるかについて意見を頂き、自己評価の客観性・透明性を高めていきたい。
3. 学校関係者評価は、卒業生、地域住民などが、学校と一緒に学生のことを考え、それぞれの立場、視点から意見を出し合うことで、より良い学校づくりに寄与するためである。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標
(2) 学校運営	教育の内容
(3) 教育活動	教育の実施体制
(4) 学修成果	教育目標の達成度と教育効果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	社会的活動
(7) 学生の受入れ募集	管理運営
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	改革・改善
(10) 社会貢献・地域貢献	
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価の活用は、学校力の向上、信頼される開かれた学校づくりに寄与できることにより、開かれた学校づくりに効果的であると思われる。
 ○毎年度末、在校生を対象に【学校・担任満足度アンケート】、1年生保護者を対象に【学校教育活動における保護者アンケート】を実施し、教職員が共通認識のもと、改善点を今後の授業運営や学生指導に役立てている。
 ○年2回、役員による各期の基本方針が全教職員の前で述べられ、学校経営に対する熱意や姿勢を共通理解するようになっている。自己評価や学校関係者評価を行い、課題を共有して解決へ向けて教職員が建設的な意見を出し合っている。

○教員研修は、新任教員基礎研修も含めて、専門分野別の研修も企画していく但し現状ではオンライン研修が主流になってきている。新任教員には、専門学校の概要などを各学科責任者が丁寧に説明、指導していく
 ○感染症の影響で、企業はほとんどがWeb面接を取り入れているので、就職課による模擬面接指導も、Web形式に変更し、また各学科の担任の先生と相談しながら指導を進めていく。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
大塚 清	元茨城県立境高等学校 校長	令和元年8月1日～令和5年3月31日(4年)	教育関係者
原田 文普	元茨城県立石岡第一高等学校 教頭	平成31年4月1日～令和5年3月31日(4年)	教育関係者
細田 哲司	有限会社丸二産業 役員	平成31年4月1日～令和5年3月31日(4年)	地域住民
山田 梨紗	株式会社ビースタイル 常務取締役	平成31年4月1日～令和5年3月31日(4年)	企業等委員
越川 三千雄	株式会社サイドランチ 編集チーフ	令和4年4月1日～令和8年3月31日(4年)	企業等委員
佐藤 勝慶	株式会社パブリオ 代表取締役	令和2年10月1日～令和6年9月30日(4年)	企業等委員
舘 香織	公立学校教員	平成31年4月1日～令和5年3月31日(4年)	卒業生
品川 みな美	株式会社provi デザイナー	令和4年4月1日～令和8年3月31日(4年)	卒業生
飯塚 康	北友ビジネス株式会社 プログラマー	令和2年10月1日～令和6年9月30日(4年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他() ()

URL: <https://www.tsg.ac.jp/>

公表時期: 令和4年8月5日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

一般社団法人全国専門学校教育研究会が作成した自己点検・評価基準を基に、学校に適応した「自己点検・評価チェックリスト」を策定し、自己点検を行うことで、教育水準の向上に更に努めるよう工夫する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校運営の状況に関するその他の情報
(9)学校評価	学校の評価
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.tsg.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ビジュアルデザイン学科) 令和4年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	A		ベーシックデザイン	レイアウト感覚や効果的色の組み合わせ、デザイン用具の扱い方など、デザインの基礎を学びます。	1前	45		○			○		○		
2	A		タイポグラフィ I	ロゴタイプ、ロゴマークのデザインから始まり、フォント制作や企業の顔となるコーポレートアイデンティティなど、文字を扱うデザインを学びます。	1前	45			○		○		○		
3	A		絵本創作 I	絵本の特性に目を向けながら、オリジナル絵本を創作し、ページ構成や書籍の構成要素を理解する。	1前	45			○		○		○		
4	A		Illustrator	Adobe Illustratorの基礎的な操作方法を学習します。	1前	90			○		○		○		
5	A		Photoshop	Adobe photoshopの基礎的な操作方法を学習します。	1前	45			○		○			○	
6	A		ドローイング	デッサンやパーススペクティブ（遠近感）の基本を学び、モノをよく観察する習慣を身につけます。水彩絵の具を中心としたアナログを学習します。	1前	45			○		○			○	
7	A		パース描写	基本的な透視図法を習得し、空間を認識した背景を描写する能力を高めます。	1前	45			○		○			○	
8	A		Web/HTML	HTML言語を理解し、Webクリエイター試験の合格を目指します。	1前	45			○		○			○	
9	A		絵本創作 II	絵本の特性に目を向けながら、オリジナル絵本を創作し、ページ構成や書籍の構成要素を理解する。	1後	45			○		○		○		
10	A		タイポグラフィ II	ロゴタイプ、ロゴマークのデザインから始まり、フォント制作や企業の顔となるコーポレートアイデンティティなど、文字を扱うデザインを学びます。	1後	45			○		○		○		
11	A		グラフィックデザイン I	印刷物を中心としたデザインワークを行います。コンセプトの確立、ターゲットユーザー、広告の目的などを意識した商業デザインを学びます。	1後	45			○		○		○		
12	A		クリエイティブワーク I	作品の“かたち”をイメージしながら平面静止画を制作し、デザイナーとしての想像力や表現力を養います。	1後	90			○		○			○	
13	A		エディトリアルデザイン I	本の構成・構造の理解を深め、出版物を美しく編集デザインする基礎を学びます。Adobe InDesignをマスターします。	1後	45			○		○		○		
14	A		アドバタイジング I	広告における表現の基礎を学ぶ。	1後	45			○		○		○		

32	A	卒業制作	年間の成果としての作品展開とプレゼンテーションを行います。クリエイターとしての自由な自己表現の場として企画からスケジュール管理まで学習します。	2後	300			○	○	○	○		
33	B	マンガ制作Ⅰ	マンガ表現、ストーリー構成の実践トレーニングを行う。	1前	90			○	○			○	
34	B	キャラクターデッサン	キャラクターをバランスよく描くための要素を学び、オリジナルデザインのキャラクターを描画する。	1前	90			○	○			○	
35	B	パーステクニクⅠ	マンガやイラストなど、作画の構図に奥行を与える上で欠かせないパーステクニク（透視図法）を習得します。	1前	45			○	○			○	
36	B	マンガテクニク	ページの見せ方や読者を引き込む作画力を身につけます。合わせて各種ツールの応用テクニクを習得します。	1前	45			○	○			○	
37	B	クリップスタジオ	CLIP STUDIO PAINTのデジタル表現に特化した機能を知り、効率的な作品制作のノウハウを習得する。	1前	45			○	○			○	
38	B	Illustrator	Adobe Illustratorの基礎的な操作方法を学習します。	1前	45			○	○			○	
39	B	絵本創作	絵本の特性に目を向けながら、オリジナル絵本を創作し、ページ構成や書籍の構成要素を理解する。	1前	45			○	○			○	
40	B	マンガ制作Ⅱ	マンガ表現、ストーリー構成の実践トレーニングを行う。	1後	90			○	○			○	
41	B	コミックイラストⅠ	ノベルズの表紙絵やコミックの扉絵・イメージイラストなどに対応するキャラクターを中心としたイラスト技法を学びます。	1後	90			○	○			○	
42	B	パーステクニクⅡ	マンガやイラストなど、作画の構図に奥行を与える上で欠かせないパーステクニク（透視図法）を習得します。	1後	45			○	○			○	
43	B	キャラクターメイキングⅠ	発想、アイディアの組み合わせ、デザインの流れで、キャラクターのビジュアル、世界観を構築させ、デジタルで表現させる。	1後	45			○	○			○	○
44	B	DTPⅠ	商業印刷物（広告・DM・ポスター・小冊子）のデザイン・編集を通じてDTPの技法を学びます。	1後	45			○	○			○	
45	B	広告マンガⅠ	掲載雑誌や宣伝媒体を設定し、それぞれに適切な内容の4コマ漫画を考え、制作各過程を経て作品として完成させる。	1後	45			○	○			○	
46	B	Word文書処理	一般企業で標準的に使用されている文書処理作成技法について学び、Word文書処理技能認定試験合格を目指します。（講義15h、演習15h）	1後	30		△	○	○			○	
47	B	就職実務Ⅰ	社会人・企業人として必要な一般常識やビジネスマナーなどを習得します。	1後	30			○	○			○	
48	B	色彩概論	ビジュアル（視覚伝達）デザインにとって必要な色彩感覚を身につけるために色彩学を学習します。色彩検定合格を目指します。	1通	105			○	○			○	
49	B	マンガ制作Ⅲ	マンガ表現、ストーリー構成の実践トレーニングを行う。	2前	90			○	○			○	

50	B	コミックイラストⅡ	ノベルズの表紙絵やコミックの扉絵・イメージイラストなどに対応するキャラクターを中心としたイラスト技法を学びます。	2前	90			○	○			○	
51	B	選択必修(マンガ・イラスト)	【マンガ制作Ⅲ選択】 マンガ表現、ストーリー構成の実践トレーニング。 【コミックイラストⅡ選択】 クリップスタジオの基礎を学び、色彩や構図を考えたオリジナルキャラクターのイラストを制作。最終的に中間制作作品として仕上げる。	2前	90			○	○			○	○
52	B	広告マンガⅡ	掲載雑誌や宣伝媒体を設定し、それぞれに適切な内容の4コマ漫画を考え、制作各過程を経て作品として完成させる。	2前	45			○	○			○	
53	B	キャラクターメイキングⅡ	キャラクターたちの物語内における役割分担を法則に基づき解説。キャラクターデザインから設定ボードまでを制作させる。	2前	45			○	○			○	○
54	B	DTPⅡ	商業印刷物（広告・DM・ポスター・小冊子）のデザイン・編集を通じてDTPの技法を学びます。	2前	45			○	○			○	
55	B	Excel表計算Ⅰ	一般企業で標準的に使用されている表計算技法について学び、Excel表計算処理技能認定試験合格を目指します。（講義15h、演習15h）	2前	30			○	△			○	
56	B	就職実務Ⅱ	社会人・企業人として必要な一般常識やビジネスマナーなどを習得します。	2前	15			○				○	
57	B	デジタルコンテンツ	CLIP STUDIO PAINTのデジタル漫画に特化した機能を知り、効率的な作品制作のノウハウを習得する。	2後	45			○	○			○	
58	B	Excel表計算Ⅱ	一般企業で標準的に使用されている表計算技法について学び、Excel表計算処理技能認定試験合格を目指します。（講義15h、演習15h）	2後	30			△	○			○	
59	B	卒業制作	年間の成果としての作品展開とプレゼンテーションを行います。クリエイターとしての自由な自己表現の場として企画からスケジュール管理まで学習します。	2後	405			○	○			○	○
合計			選択必修A：32科目 選択必修B：27科目	1,860単位時間(単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：① 出席率が90%以上・2年間1,700時間以上 ② 成績評価がC以上 ③ 学納金の完納		1学年の学期区分	2期
④ 卒業基準検定の取得 履修方法：全ての学生が必修科目を履修する		1学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。